

# no more ~ than... の構文についての考察

## —than 以下の内容が否定にならない例について—

旭 美輝夫

はじめに

(1) **no more than...**, **no less than...**の構文について

1. The bank is **no more than** ten minutes' walk from here.

「銀行はここから歩いてたった10分の距離です」

2. The bank is **no less than** ten minutes' walk from here.

「銀行はここから歩いて10分もかかる距離です」

上の1, 2について, **no more than 10**, **no less than 10**の値を, それぞれXとおくと,

$$1. X = 10 + 0 \qquad 2. X = 10 - 0$$

(小)

(大)

の関係になると考えられる。

(2) **no more ~ than...**, **no less ~ than...**の構文について

1. She is **no more** beautiful **than** her sister is.

「彼女は姉同様美しくない(姉ほどの美しさしかない)」

2. She is **no less** beautiful **than** her sister is.

「彼女は姉と同様に美しい」

上の1, 2について, 「彼女の美しさ」をX, 「姉の美しさ」をYとおくと,

$$1. X = Y + 0 \qquad 2. X = Y - 0$$

(小)

(大)

となり, (2)の数式は(1)と同じ関係になる。

(3) **not more than...**, **not less than...**について

1. The bank is **not more than** ten minutes' walk from here.

「銀行はここから歩いてせいぜい10分の距離です」

2. The bank is **not less than** ten minutes' walk from here.

「銀行はここから歩いて少なくとも10分はかかる

距離です」

上の1, 2について, **not more than 10**, **not less than 10**の値を, それぞれXとおくと,

$$1. X \leq 10 \qquad 2. X \geq 10$$

のような関係になると考えられる。そして

1'. The bank is **less than** ten minutes' walk from here.

「10分とはかからない距離です」

2'. The bank is **more than** ten minutes' walk from here.

「10分より長くかかる距離です」

1', 2'のless, moreの値はもちろん,

$$1'. X < 10 \qquad 2'. X > 10$$

したがって, 1と1', 2と2'は数学的に大変近い。10を含むか含まないかの差である。

(4) **not more ~ than...**, **not less ~ than...**の構文について

1. She is **not more** beautiful **than** her sister is.

「彼女も美しいが姉ほどではない(せいぜい姉ほどの美しさだ)」

2. She is **not less** beautiful **than** her sister is.

「彼女の美しさは姉にまさるともおとらない」

上の1, 2について, 「彼女の美しさ」をX, 「姉の美しさ」をYとおくと,

$$1. X \leq Y \qquad 2. X \geq Y$$

の関係になる。そして,

1'. She is **less** beautiful **than** her sister is.

「彼女は姉ほど美しくない」

2'. She is **more** beautiful **than** her sister is.

「彼女は姉より美しい」

において, 1', 2'のXとYの値はもちろん

$$1'. X < Y \qquad 2'. X > Y$$

となる。ここでも, 1と1', 2と2'の意味は大変近い。=がつくかつかないかの差である。

そして(4)と(3)の数式の不等号の向きが同じであることがわかる。

### §1 no more ~ than... 構文において than 以下の内容は普通否定である

ジーニアス英和第四版, 1263頁の no more A than B = not A any more than B の項には, [S (主語)がAでないことを強調するためBの例を示して]「(Sは)B(がそうでない)と同様Aでない」と説明され,

He is no more young than I am (young).  
= He is not young any more than I am (young).

「私と同様彼も決して若くない」(◆二人とも年寄りであることを示す)

と例文をあげて説明されている。

さて, A is no more B than C is D. (= A is not any more B than C is D.)の構文について, than 以下の C is D の内容が否定になる例として, かなり以前から「クジラ」の例文が用いられてきた。

The whale is no more a fish than a horse is.  
「クジラが魚でないのは, 馬が魚でないのと同じである」

これは明治39年, 仙台医学専門学校の入試問題であったといわれる。この文の出典は不明だが, 仙台医専の入試担当教授(日本人?)の創作かもしれない。なお冠詞の問題だが, クジラが主題であるから, ほかと区別して The whale としたのも一理あると思われる。しかしながら, 現在の教科書・参考書では, クジラ, 魚, 馬の三者を, 代表を表す a で統一することが多い。

### §2 no more ~ than... 構文において than 以下の内容が否定ではなく, むしろ肯定に見える場合

(a) Ted got no more (of the votes) than he needed.

「テッドは必要な数(の票)しかとらなかつた」

than 以下の he needed (the votes) の内容は否定ではなく肯定である。

(b) Helen of Troy was undoubtedly a lovely woman, but it is probable that she was no more so than hundreds of other women of her day.

「トロイのヘレンは, うたがひもなく美しい女性であった。しかしおそらく, その当時何百人もの他の美しい女性と比べて同じ程度に美しかったにすぎない。(彼女と同じくらいに美しい女性は当時他に何百人もいたであろうと思われる)」

研究社「教壇の英文法」の改訂版(現在絶版で, アマゾンの古書で2万円の高値)のなかで, 著者の宮田幸一先生が, 私の質問に対する解答・解説のかたちでとりあげられた例文である。

下線部, She was no more so(= lovely)than hundreds of other women of her day. における than 以下の内容は否定ではない。つまり「トロイのヘレンの時代の何百人という他の女性が美しくなかった」とは言えない。「絶世の美女」ではないにしても「十人並み(以上?)の美しさ」はあったはずであり, 肯定である。

(c) The animals were not badly off throughout that summer, in spite of the hardness of their work. If they had no more food than they had had in Jones's day, at least they did not have less. The advantage of only having to feed themselves, and not having to support five extravagant human beings as well, was so great that it would have taken a lot of failures to outweigh it.

[Animal Farm VI by George Orwell]

「(動物たちは, 激しく闘い, Jones たち人間を追い出し革命に成功した。その後のこと)動物たちはその夏の間, 仕事の苦しさにもかかわらず, 暮らし向きは悪くなかつた。ジョーンズ時代より多量の食糧を得ていないにしても, 少なくとも, 前より減ってはいなかつた。自分たちだけを養えばよく, ぜいたくな5人の人間を養わなくてもよいのはたいへんな利得であつたので, よほどの失敗を重ねないかぎり, その利点は失われなかつた」

この下線部も「ジョーンズの時代に食糧を得ていなかったように, いまも食糧を得ていない」と解すのではなく, 「(革命後の)いま得ている食糧の量は, ジョーンズの時代に得ていた(乏しい?)食糧の量程度は得ていた」つまり「革命後の生活が革命前の生活より著しく好転したのではなく, 同じである」という意味で, than 以下の内容は肯定である。

(d) "Now, captain," said the squire, "you are

right, and I was wrong. I own myself an ass, and I await your orders.”

“No more an ass than I, sir,” returned the captain, “I never heard of a crew that meant to mutiny but what showed signs, before, for any man that had an eye in his head to see the mischief and take steps according. But this crew,” he added, “beats me.”

[*Treasure Island X II* by R.L. Stevenson]

1966年大修館「英語教育」6月号で、当時の東京学芸大学教授、宮内英雄先生の論文「英語における肯定と否定」の中で引用されたものである。

(大意)(文脈: Squire Trelawney は好人物の大地主で、John Silver がまったくのくわせものであったことがわかって、船長の Captain Smollett にすっかり頭をさげる)

「さて、船長」と大地主はいった。「あなたのいう通りだった、わしは間違っていた。わしは自分がばかだったことを認めて、あんたの命令を仰ぎます。」

「いや、ばかなのは私もご同様です」と船長はいり返した。「陰謀をたくらむ船員で、前兆を示さないという話はずいぶんありませんので、目はしのきく人間なら、それを見抜いて、然るべき手段をとるはずです。ところが、この船員には、一ぱい食わされました」といい足した。

上は研究社新訳双書の野尻抱影訳の一部である。問題の Captain Smollett の言葉(下線は筆者)(You are) No more an ass than I (am). は、前の地主の言葉: ...I am wrong. I own myself an ass. 「私は間違っていた。私は自分がばかだったことを認めます」をうけて、「ばかなのは私もご同様です」と、鳥村先生の名訳である。もちろん You are... も I am... も両方肯定の例である。

さて、A is no more B than C is D. の構文は、通常「A が B でない」ことを述べるために「C が D でない」例を用いる。つまり普通、主題は主部の「A は B である」のところである。しかしこの「宝島」の「私もばかです」の訳は、「A が B である」をうけて「C が D である」と、主部の You are は省略され、than 以下が強調されている。つまり普通とちがう「重点(強調)の転移」がみられる。それと than 以下が肯定であるという二点において、かなり例外的な文であるといえる。

さて、(You are) No more an ass than I (am). について、普通の訳: 「あなたがばかでないのは、私がばかでないのと同じです」から、§2 (b) トロイのヘレンの項の説明と同じく、「(あなたは、本当はばかではないが、もしおっしゃるようにばかであるにしても) あなたのばかさ加減は、私のばかさ加減程度でしかない」となり、結局「私も同様ばかである」という名訳が生まれたと推論できる。

さらに §1 の The whale is no more a fish than a horse is. においても、than 以下の内容は明らかに否定であるが、文全体の意味としては、命題の「馬が魚である」程度と「クジラが魚である」程度が「ゼロだけ多い」つまり「同じ」といっているだけである。ただ「馬が魚である」という命題はあまりにも明らかな否定の内容なので、自然に「クジラが魚でない」となるのであって英文としては「馬は魚でない」と否定はしていない。したがって、「クジラが魚なら、馬も魚になるよ」という意味にもとれるのである。それを、上の「宝島の例文」にあてはめると、「あなたがばかであるなら、私もばかになる」となり、鳥村訳「私も同様ばかである」となったとも考察できそうである。

(e) As we grow older we discover that what seemed at the time an absorbing interest was in reality an appetite or passion which had swept over us and passed on, until we come to see that our life has no more continuity than a pool in the rocks filled by the tide with foam and then emptied.

[京都大学 1960年 入試問題(1)「全文和訳問題」](全訳)「我々は、年をとるにつれて、その当時は夢中になるくらい興味深く思われたことも、実際には我々を襲っては消え去った一時の欲求や情熱であることがわかり、ついには、人の一生も、泡立つ潮にみたされてはやがて空になる岩礁の水たまりと同じく、……ことを知るようになる」点線部の no more ~ than... の解釈は、当時の「入試問題正解」の K 社と O 社の解答は異なっていた。片方の解釈は、「岩礁の水たまりが連続性がないように、人の一生も連続性がない」とあり、もう一方は、「人の一生の連続性は、(寄せては返すつかの間の)岩礁の水たまり程度<sup>程度</sup>の連続性しかない」つまり our life is as ephemeral as ~ と考え、「人の

一生は、岩礁の水たまり同様にはかないものである」という解釈があった。

前者は、than 以下の内容を否定、後者は肯定の意味にとっていた。確かに専門家でも意見が異なるほど、この部分の意味は難解である。

この京都大学の全訳問題は、than 以下が肯定になる例に私が初めて出会った入試問題だった。a pool 以下は、「岩のくぼみの水たまりの連続性は、「あつという間の短い時間」であるにしろ連続性は持っているのであるから否定とはいえない。

## §2' than 以下が肯定にみえるが、文脈次第で普通の否定にもとれる場合

(a) I have no more money than you have.

「私はあなたと同じくらいのお金しか持っていない」と than 以下の You have (some money) の内容は肯定の意味で、かなり以前に拾った例文だが、文脈次第では、「私がお金を持たないのは、君がお金を持たないのと同じである」と否定の意味にもなりうる。

(b) He drank no more beer than I did.

「彼は私と同じくらいの量のビールしか飲んでいない」と than 以下の I did (= I drank some beer) の内容は肯定の意味で拾った例文だが、文脈次第では、「彼がビールを飲まなかったのは、私が飲まなかったのと同じである」と否定の意味にもなりうる。

(c) Paul hasn't any more friends than I have.

「ポールは私と同じくらいの数しか友だちがいない」と than 以下の I have (some friends) と肯定の意味で拾った例文だが、文脈次第では、「ポールに友だちがいないのは、私に友だちがいないのと同じである」と否定の意味にもなりうる。

## むすび

(1) A is no more B than C is D. (= A is not B any more than C is D.) の構文は、A is B の関係が C is D の関係より、「ゼロだけ多い」つまり「同じ」(no more) といっているだけではあるが、§1の記述のように She is no more beautiful than her sister is. において、than 以下の内容は否定になるのが普通である。つまり「姉は美しくない」ことを前提として「彼女は姉同様に美しくない」となる。ただ直訳は「彼女は姉の美しさより、ゼロ

だけ多く美しい」であり、「あの姉より少しも美しくない」「彼女は姉の美しさ程度しかない」という意味であり、英文自体は「姉が美しくない」とは言っていない。

(2) 多くの場合、C = D の内容は否定であり、A = B も否定になる。ただ C = D の内容が肯定になる例も稀にあり、その際はもちろん、A = B も肯定になる。§2 (b)「トロイのヘレンの例文」がそれで、「姉が美しい」例も存在するのである。ただここで考察すべきことは、肯定の「美しい」といっても、いわゆる「(十人並み?)に美しい」「少し美しい」のであって「非常に美しい」「絶世の美女」ではない。そこが ~ no less beautiful than... と一線を画している。

§2 (e) 京都大学の全訳の問題が、出題されている以上、私たち高校教師にとって、than 以下が否定にならない例があることを無視することはできない。ここが本考察の主題である。

なお §1 のように、C = D の関係が否定になるか、§2 の各例文のように肯定になるかという問題は、当然、その文章の文脈次第で決定されるべきであり、そのことを §2' で示した。

(3) than 以下の内容が否定であろうと肯定であろうと、§2 (d)「宝島」の解説の最後部分で述べたように、「A = B の関係は、C = D の関係程度でしかない」または「A が B であるなら、C も D になるぞ」という意味を基本として意識できる。

以上、今年で54年目にはいった筆者の教壇生活のなかで、この構文について考察してきたことのささやかな報告であります。

## 参考文献

- 「ジーニアス英和辞典 第四版」1263頁 大修館書店  
宮内英雄 「英語における肯定と否定」『英語教育』  
1966年6月号 大修館書店  
宮田幸一著 「教壇の英文法<改訂版>」105. You are no more an ass than I. 研究社  
「TREASURE ISLAND 宝島(1) 野尻抱影訳注」  
CHAPTER X II Council of War 研究社新訳  
注双書 研究社  
「対訳オーウェル I <動物農園>」CHAPTER VI  
南雲堂

(元熊本県立熊本高等学校教諭・講師)